

睦月 | むつき

「睦び月(むつびづき)」が略されたもの。「睦(むつ)ぶ」とは仲よくすることで、新年を祝って、家族や親族が集まり、睦び親しむ月だからです。

てくてく情報



今年も水辺が水鳥たちでにぎわっています♪



カモの一年と公園で見ることができる水鳥をご紹介します♪双眼鏡を持ってぜひ観察してみてくださいね★

四季とともに生きるカモの一年の過ごし方



①コガモ



②オナガガモ



③マガモ

秋

カモたちは秋になると故郷の極東ロシアなどから日本へと長旅をしてやってきます。カルガモのように日本で繁殖する種類もありますが、多くは越冬するために渡ってくる渡り鳥です。



④ハシビロガモ

冬

オスの羽が派手(繁殖羽)になり、求愛をして日本にいる間につがいを見つけます。基本的に冬のたびにつがいを形成。



(クイナ科)
⑤オオバン

春

故郷へ戻る。5月中旬ごろに故郷の繁殖地へ到着し、渡りを終えたカモたちは、短い夏の間繁殖を進めるため営巣をはじめます。



⑥キンクロハジ

夏

春から夏にかけて産卵と抱卵、子育ての時期。抱卵、子育てはメスが行い、オスは離れます。またオスの羽は地味(エクリップス羽)に戻る。

園内マップ



2 冬の花と聞いて思いうかぶのは？

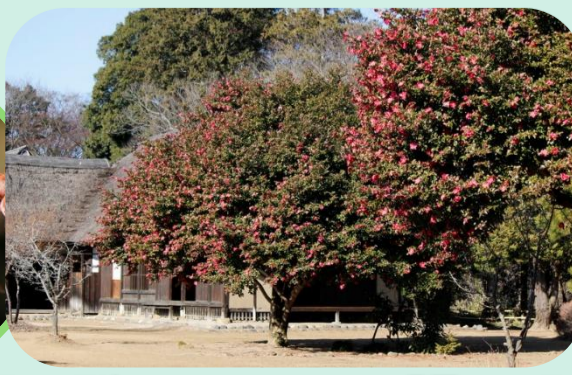


冬の民家園に彩りを添える山茶花(サザンカ)が咲いています♪

江戸時代以降に庭木として親しまれてきた山茶花。寒さ厳しい時期に咲くその姿には、昔から多くの方が心励まされてきたのではないのでしょうか。歌人・正岡子規は「山茶花のここを書斎と定めたり」と詠み、山茶花の咲く場所を自らの創作の場とした喜びを表現しました。彼はこの句のほかにも20句近く山茶花を詠んでおり、その深い愛着がうかがえます。また、花には蜜を求めてメジロなどの小鳥たちが花の間を飛び交う姿も観察できます。人だけでなく、鳥たちにとっても心癒される存在なのでしょう。ぜひ冬の民家園に足を運んでみてくださいね♪



⑦サザンカ



Instagramアカウント



Xアカウント

